

## 一復職一

心のどこかで、従業員を相手にしているよりも、また生徒と一緒に戦いたい、そんな気持ちがあったのは事実。やっぱり、苦労して教員になったんだから教員に戻るべきか・・・と考えていた矢先、妻が見つけてきましたよ！

A 工業大学附属高校国語科教諭公募

なんと！！！！  
しかもこれは妻の実家のすぐ近所の学校！

受けるしかない！

会社はだいぶ軌道に乗ってきていたので、早々に辞表を出し、退職。  
採用試験に向けて猛勉強を始めました。

1年ぶりの国語の専門試験。  
(あれ、この問題見たことある・・・)←心のつぶやき  
そう、前任校の授業で扱ったことのある分野だったんです！

運命って面白いですね。  
ばっちり解けましたよ！  
ということで1次試験は難なく突破。

そして2次試験の面接。

理事長、事務局長、校長、教頭・・・  
いきなり幹部面接か・・・

ここで忘れもしない事務局長の発言。  
「会社経営していた方が給料良いし、うちに来るのやめた方が良いんじゃない？」

は？！

と言うスタートで、35分間、とにかく圧迫面接でした。  
もう二度とこの学校に足は踏み入れないのだな、という思いで面接会場を後にしました。  
筆記試験の時とは大違いです。

しかし、その次の週、合格通知が！！！！！！

やった！これでまた教員に戻れる！  
喜びのあまり、現実が信じられないくらい、本当に夢の中にいるような気分でした。

ちなみに、採用後、事務局長とお酒の席で一緒になったので、

「面接の際は**大変**お世話になりました。おかげでこうして教員になることができました。」

と、お酒をつぎに行きました。

事務局長は、

「そんな言い方するなよ」

と、ちょっと引いていたことを覚えています。(笑)